

心とからだいきいきキャンペーン

西伯小学校が表彰を受けました

鳥取県教育委員会は、子ども達の望ましい生活習慣を定着させるために「心とからだいきいきキャンペーン」を展開していますが、西伯小の「あつたかい地域・あつたかい家庭・あつたかい学校づくり」読書・あいさつ・働くの実践から」が優秀実践事例に選ばれ、12月14日に米子市文化ホールで表彰式が行われました。

西伯小学校の後藤校長は「地域の人も関わって取り組んでいるということが評価されたので、この受賞を励みに今後もがんばっていききたい」と感想を話されました。



実践例を発表する後藤校長

南部町の教育を考える会

10月23日に、第3回目の「南部町の教育を考える会」が役場天萬庁舎で開催されました。今回は、生涯学習、社会教育、公民館のあり方等について、出席者の皆さんからご意見や夢を話していただきました。

第3回の主なご意見

- ・ 地域の中で、縦のつながりをもつと強めたい。そのためにも、地域の行事に小学生や中学生を参画させることが大切。学校も協力する
- ・ 地域の中でのリーダーや指導者を育てていくことが必要。それを行っていくのが社会教育であり、公民館の役割ではないか
- ・ 南部町公民館の館は必要。また、公民館と地域振興協議会の公民館部とが連携していくことが必要
- ・ 専門的な指導のできる人材（社会教育主事）が社会教育にも公民館にも、もつと必要ではないか

次回は1月29日午後7時から役場天萬庁舎で行われます。

内容は、南部町の教育全般についてです。

全国学校給食甲子園大会入選

第3回全国学校給食甲子園大会で、会見給食センターから応募した献立が見事入選しました。

この大会は、学校給食で郷土を代表する地場産物の活かし方を競いながら食育を啓発することを目的に開催され、全国1,329校（センター）が参加。この内54校が書類審査で選出され、その一つに会見給食センターが選ばれました。

残念ながら12校が参加する決勝大会には出場できませんでしたが、入選を励みに、今後も地場産物を積極的に活用した栄養バランスの良い学校給食の提供に努めてまいります。

入選した献立

五穀ごはん、会見ハリハリ汁、あごのカレー揚げ、千草あえ、牛乳



献立を考えた磯岩学校栄養主任

自ら健康を学ぶ



講演を聞く受講生

12月12日、あいみ学級と鶴寿大学の合同健康講座が行われ、62人の方が参加しました。

講座は西伯病院で行われ、細田庸夫名誉院長がおしつこと健康の関係について、言語聴覚士の政所寿美さんが口の食べる機能と健康維持について講演を行いました。どちらの話も分かりやすくユーモアを交えてくわしく話された。年を取ったら気をつけてないといけないことばかり。「とても良い話だった。みんなとても真剣に聞いていて驚いた」と楽しんで健康を学んでいました。